



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会

(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@gmail.com

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 072-894-3737)
(Fax 072-891-3340)

健康福祉フェスティバル (館内展示)

学びの部屋…系ぐるま・虹の会・あい
※運動療法室の社協スペースにて
グループ紹介パネル展示

ふれあい広場 (館外出店)

バザー…テント 2 張
植木市…テント 1 張
系ぐるま (介護衣料・バザー)
…テント 2 張



昨年の健康福祉フェスティバル/
バザー・古本市ブースの様

バザー用品について

収集期間：10月30日(水)～11月6日(水) ボランティアセンター2階 フリースペースをご利用
ください。家電・レコード・食料品は不可です。雑貨・台所用品は未使用品、衣類はクリーン
グ済みで汚れのないものをお願いします。

植木について

収集期間：11月5日(火)～11月7日(木) ボランティアセンター1階 外側南面空きスペースをご
利用ください。(引き取りはできません) 期日内に持ち込みで、名前や開花時期、花の色などの
情報を添えてください。植木は高さ80cm以下のものに限りです。

【各ブースの商品持ち込み時間は9時～17時を厳守】

第33回健康福祉フェスティバルが昨年比べ開催時間を1時間短縮して開催されます。ボランティア連絡会では、館内展示・館外出店ともに参加しますが、諸般の事情から古本市の出店を見送ることにしましたのでご理解ください。連絡会登録10グループよりそれぞれ選出していただいた実行委員を中心に具体的な取り組みを進めています。バザー・植木市の出品にご協力をお願いします。売上げは連絡会の活動資金に充当させていただきます。

<ふれあい広場ボランティア大募集!!>

お手伝いいただける時間があれば、ご協力をお願いします。(一部でも可。午前・午後を通してのお手伝いは大歓迎です!)

申込はボランティアセンターまで

10月16日(水) 締切

バザー：午前15人/午後15人

植木市：午前15人/午後15人

時間：午前＝9時～12時

午後＝11時30分～14時30分

第33回健康福祉フェスティバル開催!!
11月10日(日) 10時から14時 ゆうゆうセンター館内・館外

ナツボラ(夏のボランティア体験プログラム)盛況!!



ベルマークの集計作業をお手伝い

今年には社協が実施しているプログラムに加え、「きみの知らないかたの ザ★クイズラリー」とのコラボ企画で施設での体験も復活しました。
デイサービスの夏祭りの手伝いやベルマークの分別体験、ICT講座(LINE講習会)の講師サポートなど計25名が参加されました。
【参加者の声】
今回の体験を通して、ベルマークは多くの人の努力によって、様々な人の助けになっていると実感することができた。
人に教えるとなるとまた違った難しさがあり、どのような機能なのかどのような順序で利用できるのか分かりやすく説明するのが難しく感じました。

連絡会からのお知らせ

- ☆健康福祉フェスティバル・ふれあい広場各ブース(1頁参照)でのお手伝いをお願いします。
- ☆ボランティア交流会を3月12日(水)に開催(後述)します。
- ☆グループ助成金の中間決算(4～9月)を10月に実施します。10月22日(火)までに決算書類を提出してください。
- ☆赤い羽根共同募金の助成金申請について令和8年度は10万円(見込額)です。申請を希望されるグループは役員会まで申し出てください。複数のグループから申請があった場合は役員会で調整します。申請の時期は追って連絡します。

ボランティアサロン

「ボランティアの心構え」

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を開いています。11月は、ボランティアを始めて間もない人を対象にボランティア活動をする際の心構えや基礎知識をお話します。活動を始めて困ったことなど質疑応答の時間もありますので、ぜひご参加ください。

- 日時：令和6年11月19日(火) 13:30～14:30
- 場所：ボランティアセンター2階活動室
- 講師：ボランティアコーディネーター 天場 元美
- 対象：ボランティアセンター登録2年未満の人
※未登録、年数を超えている人の参加も大歓迎です
- 定員：15人(事前申込制、当日参加も可)

<申し込み・問合せ>

交野市ボランティアセンター



編集後記

▼今年も昨年を上回る猛暑が続く九月でした。地球温暖化の影響でしょうか、雨も降りだすと線状降水帯なるものが発生し、大きな被害に見舞われる地域が続出する始末で困ったものだ。▼それにしても近年は季節感が薄らいできた。旧暦にある二十四節気は農耕生活には欠かせない指標であったが、近頃の気象現象は日本人が持っていた生活上の慣習や季節感から随分かけ離れてしまった。暦の上では十月八日は寒露で晩秋にあたる。

なかま次号発行予定
令和7年1月6日(月)

ボランティア交流会(仮称)
「集まろう!知ってね!
ボランティア」
(市民交流フェスタと
ボランティア交流会を合体)
開催日時 令和7年3月12日(水)
午後開催予定
場所 ゆうゆうセンター4階
多目的ホール
集いは、ボランティア交流をはじめ、市民のみなさんの参加も含めた内容を考えています。ご意見・アイデア等をお寄せください。リーダー会での検討を早急に進めてまいります。

タウンミーティングを開催 ボランティア活動への理解を求める

7月16日、ボランティアセンターで市長とのタウンミーティングを開催しました。

少子高齢化の進行をはじめ、コロナ禍の影響を受けているボランティアグループの現状について日常活動を通して直面する課題等も交えながら報告しました。また今後のボランティア活動の展望についても、市長の見解を求めました。



タウンミーティングで山本市長が挨拶

の周知です。私たちが率先して取り組むわけですが、現状は私たちの思いが市民にまでは届かない。まずはボランティアを始めるきっかけ作りは大きな要素の一つと考えています。いろいろな機会を通して市の理解と協力を求めました。

市長からは少子高齢化の中、働き手の減少に加え、定年延長や再任用などで高齢化は避けようがない情勢であるが、市民に積極的にボランティア活動に携わっていただけるよう呼びかけたい。具体的には市民が触れ合える場の提供や、ボランティアを始めやすい環境整備に力を入れたい。また広報が持つ広域性を活用したPRも重要だとの見解が示されました。

(その他の討論については割愛) 一時間のミーティングはあっという間に終わりましたが、ボランティアの概念やグループ活動の実情を理解していただくいい機会になったというのが率直な感想です。最後にタウンミーティングの再度の開催を市長にお願いしました。

グループ近況

最近になってようやくコロナ禍の影響が薄らいできたようです。グループの活動も少しずつ以前の状況に戻つつあるのか、かなり変化をしているのか、各グループの近況をお寄せいただきました。

「愛の泉賞」受賞

朗読グループ「あい」

7月12日、大阪府視覚障がい者福祉大会で長年にわたり音訳ボランティアをしてきた団体として表彰(愛の泉賞)を受けました。

「あい」発足から30年、多くの先輩たちの歩みを受け継ぎ、これからも新たな気持ちで長く活動を続けていきたいものです。



また、9月4日、ボランティアサロンに4人の参加があり、広報の録音体験をしていただきました。即日の入会者やレッスン体験の希望者もあり喜んでいきます。11月からの「音訳ボランティア養成講座(全6回)」にもたくさんの方の参加者を期待しています。一人でも多くのなかまを迎えられたら嬉しいです。

児童書の点訳もしています

点訳「虹の会」

「虹の会」では、通常の交野市広報、新聞コラムの点訳の他に年2回のペースで児童書の点訳をしています。



最近では7月に「ぼくは地球を守りたい」を完成し、サビエ図書館(視覚障がい者等への情報提供のネットワーク)にデータベースで登録しました。引き続き児童書「ばらが咲いた日」の点訳に着手し、来年1月完成の予定です。また毎年12月は翌年の点字カレンダーを作成し視覚障がい者の方々に無料で配付しています。

グループ近況

一度覗いてみませんか

在宅訪問 陽だまり

一人での外出が困難な方の自宅や、施設、サロン等へ出向いて話し相手をする活動をしています。現在個人宅への訪問3件(訪問は常に2人1組)、施設での活動2件、サロン(にし★カフェ)での活動等です。その他に毎月第2水曜日午前に定例会、年に一度、講師を招いての勉強会をしています。ぜひ一度覗いてみてください。



10月に要約筆記体験講座

要約筆記 星の会

4月は報告会(活動・会計報告など)、5月はちぎり絵体験(新聞紙の広告欄を活用)、6月は講演会「美味しいコーヒー癒しの効果」美味しいコーヒーの入れ方などを聴きました。その他では交野マラソン2024、天の川サークル主催「防災について」要約筆記で協力しました。また、3市(枚方・寝屋川・交野)合同要約筆記体験講座、今年は交野市が担当で10月23日開催予定に向けて全員一丸で取り組んでいます。



子育て広場で待っています

子育て広場 アリス

毎月第一・三木曜日の午後、「こどもゆうゆうセンター」で親子を対象に玩具を通して、こどもたちのふれあい、お母さんたちの情報交換のお手伝いをしています。



5月から若いメンバーが加わりましたが、広場の参加者が少なく悩んでいます。小さいお子さんがおられるご家庭に、たくさんのおもちゃが揃っている「子育て広場アリス」にお越しいただけるよう呼びかけてください。

頭の体操「七並べ」で交流

障がい者との交流 ほほえみ

現在利用者の方は同居の男性2名とグループホーム入居の女性1名とボランティア数名で、午前中はベルマークの集計作業をしています。ベルマークがない時は古切手などを飾りに利用して「しおり」を作っています。しおりはバザー等に協力していただいた方にお渡ししています。午後は毎回トランプゲームで七並べをしています。単純なゲームですが結構頭の体操になり盛り上がりがあります。



手話の普及・啓発を実感

手話 さつき

4月、交野マラソン各所での手話通訳。この様子が交野タイムズで紹介。5月、連絡会発足30周年記念式典で手話をみんなで歌う。7月、「ワクワク×ゆうゆうサマースクール」で小学生と手話カルタや手話歌で交流。8月、あまのがわ子ども食堂夏祭りでも手話をこどもや保護者のみなさんと歌って交流。



いずれの場所でも聞こえないことについて勉強になった、手話を学びたい等の声を聴き、私たちの活動が手話の普及・啓発に繋がっていることを実感しました。

楽しかったミニ縁日

障がい者施設支援 ふれんず

8月25日、心生会館内でミニ縁日が開かれ4人がお手伝いに行きました。利用者さんと一緒にいろいろなゲームに参加し、「円玉落とし」や「スパーボール」で沢山のボールを揃ったり、またラムネを飲みながらオカリナの演奏を聴いたり、楽しいひと時を利用者の方々と共に過ごさせていただきました。



千支(巳年)づくりに挑戦

介護衣料手作り 糸ぐるま

今年も暑かった夏が過ぎ、11月の健康福祉フェスティバル:ふれあい広場のバザーに向けて、介護衣料の依頼を受けながら、作品と来年の千支づくりを頑張っています。「巳さん」がどのようにしているのか楽しみにしてください。



こどもに元気を貰いました

おもちゃ作り・演芸 玉手箱

ニュースポーツ

夏休みの2日間、社会福祉協議会主催の「ゆうゆうセンター」たんけんツアーに玉手箱はおもちゃ作りで参加しました。ツアーに訪れた子どもは延30人、おもちゃは①飛び出すロケット(トイレットペーパーの芯とラップの芯を使用)②牛乳パックのびっくり箱の2種類で、日頃家でゲームをする事が多い子どもたちが、ロケットをみんなで作って飛ばしあいをしている顔がとても楽しそうでした。あつという間の40分で、私たちが元気を頂いたひと時でした。

